

【別紙2】

保護者のみなさんへ

進学や進級による新しい環境への対応や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対応等、保護者の方には多大なご負担が続くと思います。子供のメンタルヘルスにとって、保護者の心身の安定が第一です。ここでは、保護者ご自身のメンタルヘルスについて述べさせていただきます。

① 保護者ご自身が、よい体調を維持できるように努めましょう。

○子供は、周りの大人の反応を見て状況を判断します。周りの大人が落ち着かないと子供も落ち着きませんが、周りの大人が落ち着いていれば、子供は安心し、落ち着くことができます。

○そのため、保護者ご自身の心身の安定が第一です。できるだけ規則正しい生活をし、睡眠を十分にとり、食事も三食バランスよく食べ、「3つの密」をさけたうえで適度な運動を心がけましょう。

※3つの密…(1)換気の悪い密閉空間 (2)多数が集まる密集場所
(3)間近で会話や発声をする密接場面

② 正しい情報を公的なホームページなどから得るようにしましょう。

○正しい知識があれば、適切に対応でき、過度な不安を除くことができます。

③ ウイルスに関するテレビやインターネットを見て、気持ちが辛くなるなら、あまり見ないようにしましょう。

○正しいことを知るのは大切なことですが、気持ちが辛いようなら、見ないようにしましょう。

④ 家族や親せき、友人などの親しい人と話す時間を持ち、孤立しないようにしましょう。

○人に話を聞いてもらうことで、心配や焦りが解消することがあります。

⑤ 過去に大きなストレスを感じながら乗り越えた経験を思い出しましょう。

○そのような経験は、過度な心配や焦りを防ぎ、今回の状況を乗り越えるのに役立つ可能性があります。また、周囲の人とお互いにうまくいっている取組があれば、褒め合いましょう。

○今回の状況を乗り越えることは、将来役に立つ可能性があります。

○保護者の姿を見て、子供は落ち着きます。

⑥ 気持ちを落ち着けるために、アルコールやタバコ、あるいは病院で処方されていた薬以外の医薬品やサプリメントに過度に頼らないようにしましょう。

○我慢できないときは、学校を介してスクールカウンセラーに相談しましょう。

○専門機関との相談が必要と感じる場合は、スクールソーシャルワーカーと相談してみましょう。

⑦ ご自身の心理的な状態を把握するように気をつけましょう。

○このような状況でストレスを感じ、不安や怒り、時に気分が落ち込むことは自然なことです。

○ストレスで生じるメンタルヘルスに関連する反応には、気持ちの変化や体調の変化など様々なものがあり、日常生活に支障が出る場合もあります。このような反応が普段よりも強く出た場合は、休息をとり、必要に応じて専門機関に相談しましょう。

○もともと専門機関にかかっている方は、症状が悪くなる前にこまめに相談しましょう。

⑧ 必要なときに、相談できる専門機関をあらかじめ調べておきましょう。

○わからない場合は、埼玉県のホームページを参考にしてください。

【新型コロナウイルスに関連した相談窓口について】

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/consulting_service.html

【別紙3】

幼稚園児・小学生のみなさんへ

家族のかたと一緒に読みましょう

新型コロナウイルス感染症の感染防止のためお友達と遊ぶことや家から出ることができないと気持ちが辛くなり、イライラすることがあります。そうならないために、次のことに気をつけましょう。

① 規則正しい生活をしましょう。

- 早寝早起きをこころがけ、生活リズムを整えましょう。
- なるべく決まった時間に3食をバランスよく食べましょう。

② 幼稚園や小学校へ通わない日は、適度な運動やリラックスできる時間を取りましょう。

- 「3つの密」※にならないよう気をつけながら、外で散歩したり、ジョギングしたり、家の中でストレッチをするなど、リラックスできる時間を取りましょう。
- コンピューターゲーム、パソコン、動画等は家族と相談して時間を決めましょう。
- 遊具をさわる前とさわった後は、手洗いをきちんとしましょう。
- 遊具をさわった手で、鼻や口をさわらないようにしましょう。

※3つの密…(1)風通しのよくない建物や部屋をさける (2)人がたくさんいる場所には行かない
(3)人とお話しするときは近づいて話をしない

③ 感染防止に努めて過ごしましょう。

- せき、鼻水、発熱などがあるときは、出かけないで家で過ごしましょう。
- 元気な人も、ウイルスがうつらないよう「3つの密」に気をつけて過ごしましょう。

④ ウイルスに関するテレビやインターネットを見て、気持ちが辛くなるなら、あまり見ないようにしましょう。

- 正しいことを知るのは大切なことですが、気持ちが辛いようなら、見ないようにしましょう。

⑤ 幼稚園や小学校へ通わない日は、家族や友だちと話す時間をもちましよう。

○気持ちが辛いときは、一人でいるよりも信頼できる人と話すと楽になることがあります。

○家族がお仕事などのため、一人で留守番するのが辛いときは、家族と連絡がとれるようにしておきましょう。辛かったら電話をしましょう。

○家族といるときは、カードゲームやボードゲーム、お話などをして過ごしましょう。

○会えない友達と話したいときは、家族と相談して、電話などをしてみましょう。

⑥ 気持ちが辛くなったら、家族や学校の先生などに相談しましょう。

○気持ちが辛いときは、次のような症状が出ることもあるかもしれませんが、でも、今回のような状況では、不思議なことではありません。状況が落ち着けば、おさまることが多いです。

- ・甘えなくなる
- ・心配になる
- ・元気が出ない
- ・悲しくなる
- ・おねしょをしてしまう
- ・イライラする
- ・怒りっぽくなる
- ・きょうだいげんかが増える

○長く続くときや心配なとき、困ったときは家族や学校の先生など、信頼できる大人に相談してみましょう。学校の先生への相談は登校したときや電話ですることができます。

○気持ちがいつもと違うかも？と思ったときは、相談してみましょう。

⑦ いじめは絶対にしないようにしましょう。

○たまたま、新型コロナウイルスにかかった人や、その家族あるいは身近な人、かかった人のためにがんばっている病院や保健所の人やその家族などに、傷つけるようなことを言ったりするのはやめましょう。

- ・「ウイルスにかかっている」、「ウイルスがうつる」などと言ってからかたり、仲間はずれにしたりすること。

○いじめは絶対にあってはならないものです。もし、そのような場面を見かけたら、家族や学校の先生など、信頼できる大人に相談しましょう。